

世界遺産登録への道

「世界遺産サポートーズクラブ」

サポートーズクラブ・小沼会長に聞く

今回は、奥州市世界遺産サポートーズクラブについて、会長である小沼義男さん（57）^{II}を水沢区佐倉河字東高山^{II}に紹介していただきます。

市世界遺産サポートーズクラブが、昨年7月に設立しました。もともとは、市で開講した世界遺産ガイド養成講座の受講者のうち、「ガイド活動以外で世界遺産登録を支援したい」という人たちが中心となり、市内の2つの世界遺産候補地側面から応援・支援しようという目的で組織したものです。現在20代から70代までの34人と1法人が会員となっています。

サポートーズクラブの活動内

安倍氏に関わるものでした。強するうちに、白鳥館遺跡が平泉文化を支えた北上川交通の様子を今に伝える貴重な遺跡であることや、長者ヶ原廃寺跡を含めた衣川地区が奥州藤原氏にとって大切な場所であることが分かります。しかし、2つの遺跡は、平泉の成り立ちを考える上でもなくてはならないのです。

が、われわれが、実際に登録になつてから



4月20日に行った白鳥館遺跡周辺の清掃活動の様子

Vol. 15

市世界遺産保存活用推進協議会が設立

行政と住民、各関係団体 遺跡保存活用へ連携強化

行政、住民、関係団体の代表者が一堂に会した、第1回市世界遺産保存活用推進協議会

市世界遺産保存活用推進協議会の初会合が4月10日に行われ、市と住民、関係団体が市内の世界遺産候補地・白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡の保存や活用にさらなる連携協力をしていくことになりました。

市役所講堂で開かれた第1回協議会では、会長を務める相原市長以下市側の出席者をはじめ、商工団体や観光協会、農協のほか、地元の住民団体の代表者が出席。協議に先立

ち、会長から協議会委員34人に委嘱状が交付されました。協議会は、こどし7月に予定されている世界遺産の本登録を見据え、3月25日に設置。登録後の最重要課題である史跡の保存・活用を円滑に進めるため、行政、住民、各市民団体などの意見調整、話し合いの場として中心的な役割を担っていきます。

■問い合わせ 世界遺産登録推進室（前沢総合支所内線312）

消費生活Q&A

このコーナーでは、普段の生活で実際に相談があった事例から、その対処方法などを紹介します。
消費生活相談は各総合支所で行っています。詳しくは広報おうしゅうお知らせ版の「相談窓口」を参照してください。

困った時はまず相談

市は4月から消費生活相談員を増員するなど、全総合支所に定例相談日を設けました。各支所の相談日をお知らせします。

おレ元気ビ

簡単朝食メニュー②

春キャベツのエスニックサラダ



材料（4人分）

春キャベツ……………300g
ホタテ貝柱水煮……………1缶
ガルギール・カシューナッツ…少々
ミニトマト……………5、6個
A=ナンブラー（魚介類原料のしょうゆ）・ごま油・レモン汁
各大さじ1、トウガラシ…適量
※ホタテ貝柱水煮はツナ水煮、カシューナッツはクルミでもOK

作り方

- ①春キャベツは10cmほどにちぎる。ミニトマトとガルギールは、食べやすい大きさに切る
- ②ホタテ貝柱の身をほぐし、Aとからめて味付けをしておく
- ③ちぎったキャベツの葉に、それ味付けしたホタテ貝柱、ミニトマト、ガルギールを盛り付け、刻んだナッツを散らして出来上がり

わたしたちが作りました



衣川区食生活改善推進員協議会の皆さん

春キャベツのビタミンUは、胃壁を守り、肝機能アップや活性酸素除去に働きます。胃腸薬の主成分にも使われる健康成分なのです。



「こんばんは！
市長です！」

4月下旬に奥州前沢春祭りがありました。姉妹都市である北海道厚真町の藤原町長さんが、水沢区や江刺区の厄年連などの応援参加に感心していました。その後、胆沢区の水の郷さ

相談にも応じますので、困ったことがあります。また家庭内のトラブルなどの相談も受けます。特に多重債務の解決は、まずは相談から始まります。1人で悩まず、早めに相談することが早期解決につながります。

消費生活相談は、悪徳商法の被害や多重債務問題などについて専門相談員が面談し、解決に向けて支援します。特に多重債務の解決は、まずは相談から始まります。1人で悩まず、早めに相談することが早期解決につながります。

3月末から5月はじめにかけては、百花繚乱の中、春祭り一色の季節となりました。口火となる3月の羽田火防祭（水沢区）は、好天の中、厄年連の踊りの初披露の場ともなりました。

市世界遺産保存活用推進協議会の初会合が4月10日に行われ、市と住民、関係団体が市内の世界遺産候補地・白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡の保存や活用にさらなる連携協力をしていくことになりました。

市役所講堂で開かれた第1回協議会では、会長を務める相原市長以下市側の出席者をはじめ、商工団体や観光協会、農協のほか、地元の住民団体の代表者が出席。協議に先立

ち、会長から協議会委員34人に委嘱状が交付されました。協議会は、こどし7月に予定されている世界遺産の本登録を見据え、3月25日に設置。登録後の最重要課題である史跡の保存・活用を円滑に進めるため、行政、住民、各市民団体などの意見調整、話し合いの場として中心的な役割を担っていきます。

■問い合わせ 世界遺産登録推進室（前沢総合支所内線312）

